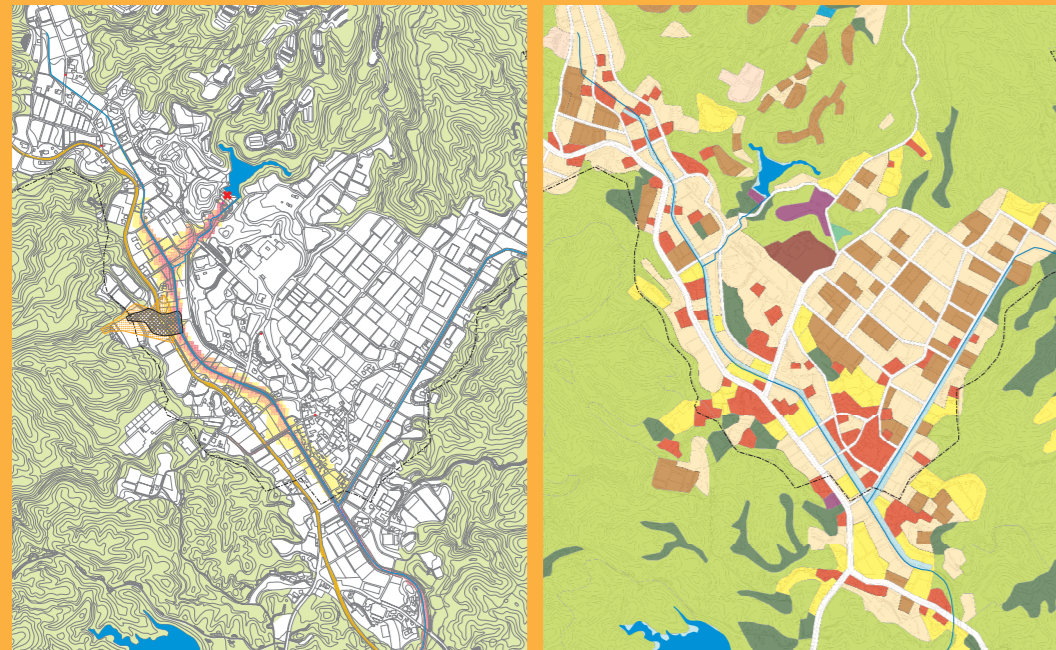


喜瀬武原ため池 ハザードマップ



●ハザードマップについて
ハザードマップは、地震、台風、集中豪雨などの自然災害の危険性を伝え、知るための地図のことです。住民及び関係者が想定される災害に取り組むための基礎情報となります。

喜瀬武原地区には、地区集落の北側に喜瀬武原ため池があります。このため池が大地震などにより堤体が決壊した場合を想定し、「喜瀬武原ため池ハザードマップ」を作成しました。身近にある危険を知り、その対策を家庭や地域で備え、防災・減災にご活用ください。

●喜瀬武原ため池の概要について
喜瀬川上流左岸の支流に位置する農業用水を蓄えるためのため池です。

■ため池の規模
満水面積：1.1ha
総貯水量：48,000m³
堤高：15m
堤長：55m
灌漑の受益面積：44ha



ため池決壊の主な原因とメカニズム

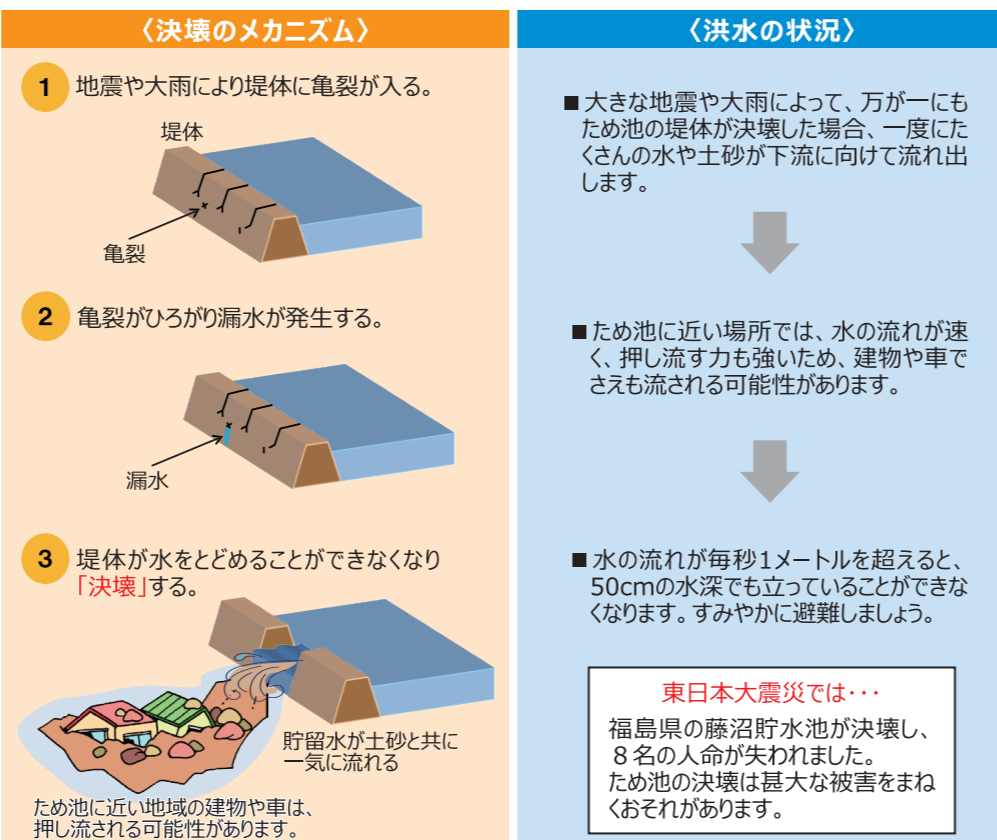
ため池決壊のメカニズム

■地震のとき
大地震が発生すると、堤体は異常な力を受けて亀裂や沈下が発生します。地震によって堤体の強度も低下しているため、水圧に耐えきれず決壊することがあります。

大地震直後に決壊しなくても、堤体が損傷している場合には、その後の余震で決壊することもあり得るので注意が必要です。

■大雨のとき
台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上昇すると、堤体に浸み込む水の量が増えて、亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険性が高まります。また、流木などがため池の洪水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、堤体から越水してしまいます。

堤体を乗り越えた水の力により堤体が侵食され、決壊に至る危険性がさらに増加します。



ため池の決壊 は予測が困難なため、避難情報が間に合わないおそれがあります。
早めの避難 を心がけましょう！

歩行困難度図



●歩行困難度
水深が深くなるほど、また水の流れる速度が速くなるほど歩くのが困難になります。

50cm程度の水深でも、流速が1.0m/sを超えると立っているのも困難と言われています。

我が家の防災メモ

避難所		
家族で決めた集合場所		
家族で決めた連絡方法		
家族で決めた約束事		

家族・親戚の連絡先		
名前	連絡先(会社・学校)	電話番号(携帯電話)

災害時の連絡方法を覚えておきましょう
電話が込み合う災害時に、家族や支援者との安否確認に役立つのが、NTTの「災害用伝言ダイヤル」や携帯電話各社の「災害用伝言板」です。大規模災害時、被災地へ向けての通話がつながりにくい状況になった場合に稼働します。

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方 ※音声案内が流れるので、それに従って落ち着いて利用しましょう。

伝言の録音方法 171 ▶ 1 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を吹き込む

伝言の再生方法 171 ▶ 2 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を聞く

「災害用伝言ダイヤル171」サービスを体験できます。(毎月1日、他)
◎詳しくはNTT及び携帯電話会社にお問い合わせください。
◎実際に災害が発生した際には、体験サービスの利用ができない場合があります。

緊急時の連絡先

名称	電話番号
消防救急	119番
警察	110番
名称	電話番号
恩納村役場 総務課	098-966-1200
石川警察署	098-964-4110
金武地区消防衛生組合恩納分遣所	098-966-8118

「喜瀬武原ため池ハザードマップ」
発行日/令和3年(2021年)8月
編集・発行/恩納村役場 農林水産課
〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村宇恩納2451番地 TEL:098-966-1202

非常持出品 (下記リストから最低限必要なものを準備しておきましょう)

いざという時の備え (準備ができれば☑にチェックを入れましょう)

備蓄品は、最低3日分を自前に備え、賞味期限や消費期限を定期的に点検しましょう。持ち出す際には、両手が空くようにリュックサックに最低限必要なものをつめておくとう便利です。

できるだけ歩きやすい服装で避難しましょう！

非常用持出品 (リュックサックなど) につめるもの

<input type="checkbox"/> 貴重品 (お金・免許証・通帳・印鑑・健康保険証など)	<input type="checkbox"/> 飲料水
<input type="checkbox"/> 非常食 (保存期間が長く、調理せずに食べられるもの)	<input type="checkbox"/> 衣類 (上着・下着・靴下)
<input type="checkbox"/> 救急用品・医療品 (持病のある方は常備薬やお薬手帳の写しなど)	<input type="checkbox"/> 雨具・防寒具
<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・予備電池
<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 生理用品
	<input type="checkbox"/> タオル・ティッシュペーパー

ライフラインの停止を想定した備蓄品の備え ※食料品などは、ローリングストック法により備蓄

<input type="checkbox"/> 食料 (缶詰、レトルト食品など)	<input type="checkbox"/> 飲料水 (大人1人当たり1日3ℓを目安)
<input type="checkbox"/> 燃料 (カセットコンロ・ガス、固形燃料など)	<input type="checkbox"/> 簡易食器セット・紙皿
<input type="checkbox"/> トイレ用品 (携帯トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレトイレットペーパーなど)	<input type="checkbox"/> 缶切・ナイフ
<input type="checkbox"/> 寝具・寝袋・毛布	<input type="checkbox"/> 食品用ラップ・ゴミ袋
<input type="checkbox"/> ガーゼ・包帯・ばんそうこう	<input type="checkbox"/> LEDランタン・ヘッドライト
<input type="checkbox"/> 目薬	<input type="checkbox"/> 洗面用具
<input type="checkbox"/> スリッパ	<input type="checkbox"/> 常備薬 (処方箋)
	<input type="checkbox"/> 体温計
	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ
	<input type="checkbox"/> 新聞紙
	<input type="checkbox"/> 筆記用具

家族構成や世帯事情に応じて必要なもの

●乳 幼 児 :	<input type="checkbox"/> 粉ミルク (液体ミルク)	<input type="checkbox"/> 離乳食	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶・幼児用スプーン
	<input type="checkbox"/> 母乳バット	<input type="checkbox"/> おむつ・おしりふき	
●持病のある人 :	<input type="checkbox"/> 主治医連絡先	<input type="checkbox"/> 持病薬	<input type="checkbox"/> 在宅医療用品など
●高 齢 者 :	<input type="checkbox"/> 入れ歯・洗剤	<input type="checkbox"/> 補聴器・電池	<input type="checkbox"/> 介護食・大人用おむつなど
	<input type="checkbox"/> お薬手帳	<input type="checkbox"/> 高齢者用食品	
●障害のある方 :	<input type="checkbox"/> 障害者手帳	<input type="checkbox"/> 補助具の予備	<input type="checkbox"/> 常備薬
●ベ ッ ト :	<input type="checkbox"/> キャリーバッグ	<input type="checkbox"/> ケージ	<input type="checkbox"/> ペットフードなど
	<input type="checkbox"/> リード	<input type="checkbox"/> 排泄用品	

■常備薬について
いつ来るかわからない災害の備えとして、手持ちの処方薬を切らさないよう、注意を払いましょう。家族の中に日常的に処方薬(注射薬等を含む)を必要としている方がいる場合は、1週間程度のゆとりを持って定期的な受診を促すよう心がけましょう。

ローリングストック法で在宅避難に備えましょう

ローリングストック法とは、日常生活で使用する水や食料のうち、保存の利くものを3日分備蓄しておき、古いものから普段の食卓で食べ、食べた分だけ後から買い足す方法です。

これにより、備蓄品を無駄にせず、災害時も普段から食べられた食品を非常食として食べることができます。

ハザードマップの活用方法

ハザードマップ活用の基本的な考え方

- ① 自宅、ため池の場所を確認しましょう
このハザードマップでご自宅の場所を確認しましょう。
■次に、ため池の場所を確認しましょう。
■いざという時にハザードマップを確認できるよう、自宅や職場には印をつけておきましょう。
- ② 想定される浸水範囲や深さなどを確認しておきましょう
■ため池の決壊による「浸水範囲」、「浸水深」、「到達時間」を確認しておきましょう。
■ご自宅が浸水する可能性があるかどうか、把握しておきましょう。
- ③ 一時避難場所と避難ルートを決めておきましょう
■ため池が決壊したら、早い場所では数分で決壊流が到達する可能性があります。
■できるだけ早く、かつ安全なルートを選ぶ必要があります。まずは命を守ることを最優先に考えましょう。
■避難が困難となる場合もあるので、一時避難場所に指定されていなくても緊急的に命の安全を確保できる場所(高台など)の位置を確認しておきましょう。
- ④ 一時避難場所から避難所までのルートを決めておきましょう
■一時避難場所から避難所(避難生活が送れる場所)へのルートを考えましょう。
■自宅から一時避難場所、避難所まで実際に歩いてみて、移動に必要な時間を確認しておきましょう。
- ⑤ 日頃から家族や地域で話し合ひましょう
■家族とはぐれてしまったために、集合場所を事前に決めておきましょう。
■避難の際には、身体の不自由な方や乳幼児など避難に補助が必要となる方がいます。日頃から地域で支度方法や役割を決めておきましょう。
- ⑥ 防災情報の入手先を確認しておきましょう
■ため池が決壊した場合、短時間で浸水する可能性があります。日頃から防災情報の入手方法や配信方法について、確認しておきましょう。
- ⑦ 村が公開している「恩納村防災マップ」等もご覧ください
■恩納村では、「恩納村防災マップ」を作成しています。恩納村ホームページからダウンロードするか、恩納村役場に配布しています。
■このマップと併せて活用し、いざというときに備えておきましょう。

決壊のおそれがあるときの行動

緊急時にとるべき行動

地震のとき	大雨のとき
<p>大規模な地震で堤体が損傷を受け、亀裂が入り漏水が起こることで強度が低下し、水をとどめることができなくなり、決壊が発生します。</p> <p>1. まずは命の安全を！ ■今までに経験したことがないような地震が発生したら、まずは身の安全を確保してください。</p> <p>2. 高い場所に避難 ■ため池の下流にお住まいの方は、ただちに高い場所へ避難しましょう。 ■外に出るときは歩きやすい靴を履きましょう。 (可能であれば) ■避難の前に火元を確認し、消しましょう。 ■電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓をしめてください。</p> <p>3. 情報収集 ■ラジオ、テレビ、携帯端末などを使用して「避難の情報」などを参考に公共機関からの正確な情報を収集してください。</p> <p>4. 周辺状況の確認 ■ため池など周辺の状況に異常があった場合には、緊急連絡先まですぐに連絡を！ ■収集した情報や周りの状況に応じて、避難を継続するかどうかを判断してください。</p>	<p>大雨でため池の水位が急激に上昇し、堤体に浸透して強度が低下したり、堤体を越えた水によって浸食されて、決壊が発生します。</p> <p>1. 情報収集 ■ラジオ、テレビ、携帯端末などを使用して「避難の情報」などを参考に公共機関からの正確な情報を収集してください。 ■気象庁から注意報・警報などが発表されます。</p> <p>2. 身の危険を感じたら避難 ■村からの避難情報があったり、身の危険を感じたら、すみやかに避難しましょう。 ■外に出るときは歩きやすい靴を履きましょう。</p> <p>3. 周辺状況の確認 ■ため池など周辺の状況に異常があった場合には、緊急連絡先まですぐに連絡を！ ■収集した情報や周りの状況に応じて、避難を継続するかどうかを判断してください。</p>

緊急連絡先

緊急連絡先	電話番号
恩納村役場 総務課	098-966-1200
石川警察署	098-964-4110
金武地区消防衛生組合恩納分遣所	098-966-8118

避難時の注意点

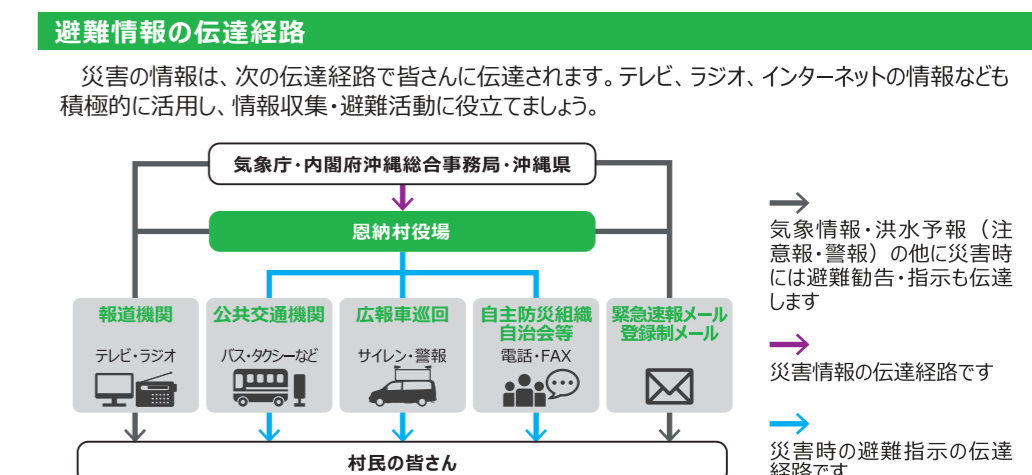
避難路も危険
■避難路は様々な危険が想定されます。臨機応変に危険を避け、橋は横力渡らないように一時避難場所を目指してください。特に夜間には足元が暗く、すでに浸水が始まっている場合などは無理をせず、高い場所で救援を待ちましょう。

マンホールのあるところでは注意
■大雨の際にはマンホールのふたが外れることがあります。段差や水路・マンホールなどに近寄らないでください。すでに浸水が始まっている場合などは無理をせず、高い場所で救援を待ちましょう。

他の災害にも注意
■地震や大雨の時には液状化や土砂災害なども発生している可能性があります。他の災害にも十分注意を払いましょう。

まずは自分の命を守る
■まずは自分の命を守り、可能であれば近所の方や、一人暮らしのお年寄りなど、助けが必要な方も声をかけて避難しましょう。

避難の情報



インターネットを利用した情報収集

<p>沖縄気象台 https://www.jma-net.go.jp/okinawa/</p>	<p>沖縄県防災情報ポータル http://www.bousai.okinawa.jp/</p>
<p>沖縄県河川情報システム http://www.bousai.okinawa.jp/rivcr/kasen/</p>	<p>恩納村ホームページ https://www.vill.onna.okinawa.jp/index.php</p>

恩納村からの情報伝達について

■緊急速報メール
村からの災害・避難情報等の緊急性の高い情報を村内の携帯電話へ一斉に配信するものです。

利用配信	利用料金	特徴①
NTTドコモ、au 及びソフトバンクの携帯電話利用者		村域内にいるだけで受信が可能
配信範囲	村域内の各携帯電話会社通話エリア内	特徴②
		利用料金がかからない
配信範囲	高齢者等避難、避難指示、緊急地震速報など	特徴③
		メールアドレスの登録が不要

■恩納村メール(登録制)
村に関わる防災情報等を、事前に登録した人にメールを配信します。

利用情報	登録方法
<ul style="list-style-type: none"> ■気象情報(大雨、洪水、暴風等) ■スボーツ ■市民活動 ■学習・文化 ■その他行政情報 	<ul style="list-style-type: none"> ■安全安心 ■子育て ■観光・イベント ■健康・福祉・医療

登録方法
①右の二次元コードを読み取るか、下記のメールアドレスからメールが受信できるよう設定のうえ、空メールを送信してください。
②受信されたメールを受信後、メールに表示されたURLにアクセスしてください。
③画面の指示に従って本登録を行い、「登録完了」のメールを受信すると登録完了です。